

ボランティアビューロー だより

平成25年12月14日(土)に
おもちゃ図書館「たんぼぼ」のクリスマス会が開催されました。

おもちゃ図書館とは?

発達の違いがあったり、さまざまなハンディのために上手に遊べない子どもたちとその家族が、おもちゃを通して楽しく遊びながら交流する場を提供しています。毎月2回、区在宅サービスセンターの3階で開かれています。仲間がひとりでも多く増えたらうれしいです。気軽にのぞいてみてください。

毎年行われているクリスマス会ですが、今年も子どもたちやご家族がたくさん参加されました。

ボランティアさんからクリスマスバージョンのウクレレ演奏や、絵本の読み聞かせをしていただきました。クリスマスにちなんだ絵本や、紙芝居などのたくさんのお話を聴くことができました。イオンリテール株式会社さんからは、プレゼントを渡していただき、子ども達は大喜び!サンタさんに会えた時の子ども達の笑顔がとてもステキでした。やっぱりサンタさんはスゴイ!

来年も来ることを約束してもらい、とても楽しいクリスマス会となりました。イオンリテールさん、ボランティアの方々どうもありがとうございました。



福祉教育を推進しています!

今年度も、鶴見区社会福祉協議会では、福祉のまちづくりを目指して、鶴見区内の小中学校、高等学校、地域等と一緒に福祉教育を実施しています。



視覚障がいの方と交流しながら、一緒にポッチャを楽しみました。



認知症について学習しました。

職場体験の受け入れ

生徒さん達には、朝、車でご利用者さんのご自宅へお迎えに上がり、日中は入浴される方の衣服の着脱やお話しをお手伝いいただき、昼食後は、レクリエーションや四季折々の行事、催し物をお手伝いして頂きました。

学校名	男	女	計
緑中学校	1	2	3
茨田中学校	0	2	2
今津中学校	3	0	3
横堤中学校	0	3	3
茨田北中学校	0	2	2
計	4	9	13

平成26年度のボランティア保険加入のご案内

この保険はボランティアの方が、活動中に事故にあってけがをしたり、対象者など第三者の身体や財物に損害を与え、賠償責任を負ったりした場合に支払われる保険です。(補償内容の詳細についてはパンフレットをご覧ください。)
補償期間は加入手続き完了日の翌日0時から平成27年3月31日24時までです。お問い合わせは鶴見区ボランティアビューローまで。

ボランティアに関するお問い合わせは 鶴見区ボランティアビューロー 06-6913-7070 06-6913-7676 ●開館時間/午前9時～午後5時(日祝休館)

賛助会員募集のお願い

鶴見区社会福祉協議会では、共同募金配分金や各種補助金のほか、寄付金・会費等により事業を実施しています。会費の用途としては、半額を会費振込手数料、区在宅サービスセンター維持管理等に、半額を高齢者・見守り活動やサロン活動、子育て支援などの福祉事業に活用させていただいています。これまでに、多くの区民の皆さまや会社などの法人の方々に賛助会員となっていておりましたが、さらに充実した活動を展開するため、広く会員を募集しています。一人でも多くのご支援をお願いします。

☆すでに賛助会員としてご協力いただいている皆さまには、直接、会費納入のご依頼を送付させていただきます。

- 個人会費.....1口 1,000円
- 法人・団体会費.....1口 10,000円

(口数は何口でも結構です)

直接窓口へお越しいただくか、郵便局の下記口座へお振込みをお願いいたします。(振込用紙に住所・お名前・電話番号をご記入ください)

加入者名
社会福祉法人
大阪市鶴見区社会福祉協議会

口座番号
00930-2-83525
※年間を通じて受付をしています。

つるみ区社協 助成事業

区内において社会的に支援を必要とする方を対象に、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指し、活動している団体が実施する事業を助成します。

申請対象 前述した目的にあった事業実施経費のうち助成対象となる経費を対象とする

申請時期 平成26年4月1日～30日

交付金額 1事業5万円を上限とする

申請・問合せ先 鶴見区社会福祉協議会(郵送不可)
06-6913-7070

※助成対象経費の内容、申請方法、添付書類等の詳細については、お問合せください。

祝 受賞おめでとうございます ～平成25年度 大阪市社会福祉大会～

大阪市社会福祉大会が平成25年10月16日に大阪国際交流センターで開催され、地域福祉の推進に貢献された方々が表彰されました。

鶴見区の受賞者は次のとおりです。(順不同)

◆大阪市長感謝状
(地域福祉推進功労者感謝)
●倉本 秀利 様 ●吉田 豊 様

◆大阪市長表彰状
(地域福祉推進功労者表彰)
●園芸ボランティアグループ「アロマ」様

Tsurumiku Council of Social Welfare

鶴見区社協 だより

2014年2月
第52号

【編集・発行】社会福祉法人 大阪市鶴見区社会福祉協議会 ☎06-6913-7070 06-6913-7676
〒538-0051 鶴見区諸口5丁目浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター内 <http://www.tsurumi-kushakyo.or.jp/>

防災の取り組み

鶴見区では、3年間にわたり、地域、福祉施設、介護保険事業者等と一緒に、災害時、自分たちにとって何が出来るのかという取り組みを進めてきました。その間、地域においても災害時のための要援護者登録の取り組みも始まりました。また、地域の自主防災組織において実施されている防災訓練に、福祉施設や介護保険事業者等が参画するなどのつながりもできつつあります。

その中で、今年度は、防災教育チャレンジプランの支援も得ながら、「福祉避難所」というところに焦点を当てた取り組みを実施してきました。

講演会実施

平成25年7月11日、鶴見区民センター小ホールにおいて、「福祉避難所の現状と課題」と題した講演会を開催しました。

阪神・淡路大震災、東日本大震災の際に福祉避難所の運営に関わられたNPO法人阪神高齢者・障害者支援ネットワークの理事長 黒田裕子氏と仙台市障害者福祉協会の会長 阿部一彦氏を講師としてお招きし、被災地での福祉避難所の現状についてご講演いただきました。

実際に運営に関わられた方々のお話を聞くことで、福祉避難所の実情や重要性について知り、鶴見区においても福祉避難所の開設を想定した取り組みを行っていく必要性を認識することができました。



福祉避難所訓練

平成25年9月2日、特別養護老人ホームリベルタ・ヴィータにて福祉避難所開設・運営訓練を実施しました。9月1日に大規模災害が発生し、鶴見区においても全半壊の家屋があり、被災者が出ていることを想定した中での、避難所開設及び避難者受け入れ訓練です。まず、鶴見区災害対策本部より受け入れ確認のやりとりを行ったあと、それぞれ介護状態の異なる3人の被災者役が福祉避難所に来られ、施設職員が受付・聞き取りを行い、避難者のケアを介護職員が行いました。

開設・運営訓練は初めてでしたが、防災訓練を日頃からしっかりされている成果でスムーズに動かれていました。また、被災者役は施設やケアマネジャーなど普段は介護する側が演じましたが、皆さん演技派揃いでそれに呼応するかのよう受け入れ側もリアリティのある訓練になりました。



シンポジウム

平成25年11月22日、鶴見区民センター小ホールにおいて、「鶴見区における福祉避難所開設に向けての現状と課題」と題したシンポジウムを開催しました。

第1部では、9月に実施した福祉避難所開設・運営訓練の報告を行い、参加者と福祉避難所のイメージや課題を共有した後、時事通信社の解説委員及び防災教育チャレンジプランの実行委員もされておられる中川和之氏に講評をいただきました。

第2部では、NPO法人榎本地域活動協議会の木村武史氏、特別養護老人ホームリベルタ・ヴィータの下農喜代美氏、1部に引き続き中川和之氏をシンポジストとして、大分大学教育福祉学部准教授 山崎栄一氏をコーディネーターとして迎え、鶴見区における福祉避難所開設に向けたシンポジウムを行いました。地域、社会福祉施設、それぞれが災害時に支援が必要な方に対して何が出来るのかということを確認し合いました。



地域の防災訓練に参加しています

7月11日に開催した講演会で、黒田裕子さんが「災害時、看護師だけでなく、避難者同士が出来ることを活かしながら支え合っていくことも大切。特に、脈を測るということは健康状態を把握することができるだけでなく、コミュニケーションにもつながる」とおっしゃっていたことを受け、今年度は、「自分の脈拍を測ってみよう!」をテーマに地域の防災訓練に参加しています。

災害時、血圧計・体温計等がない中でも、道具を使わずに健康状態を把握するのが脈拍です。災害時に備えて、普段から、自分の脈拍の状況を把握し、健康管理できるようにすることが大切です。防災訓練では、地域内の社会福祉施設や介護保険事業者等にも協力いただきながら、参加者の方々に正しい脈拍の測定方法を身に付けてもらいました。

